



撰末社

撰社・末社とは本社の境内、境外に鎮座される小規模の神社のことをいい、本社に関係ある神様ばかりではなく、住吉神社の場合の区別は以下による。

1. 本社の御祭神の後神や御子神、由緒ある神を祀る。
2. 本社鎮座地の地主神を祀る。
3. その他、特別に由緒ある社。

この3点を満たすお社が「撰社」で、満たさないお社が「末社」とされる。



大鳥居をくぐり、すぐ左の神池に末社の「安芸の巖島社」⑫が鎮座する。

いつくしましや
■ 巖島社 — 末社



御祭神	市杵島姫命
御鎮座年	不詳
例祭日	7月17日
由緒	宗像三神といわれる三女神のうちの一神で、 広島県の宮島に鎮座される巖島神社の神であります。 室町時代の頃に、その宮島から御分霊をいただいて境内の神池にある中之島におまつりしたと社伝では語り継がれています。市杵島姫命は七福神の弁財天と称えられ、平氏や毛利氏などの崇敬が極めて厚かっただけでなく、現在もその崇敬が厚いといわれています。現在の社殿は平成の御大典を祝して、平成3年(1991)に竣工したものです。

(参考 Web: 長門一宮住吉神社公式サイト [撰末社](#)より引用)